

II 授業の実践

1 低学年ブロックの実践

(1) 低学年ブロックテーマ

ワークシートへの視写や書き込み、役割読みや動作化などを通して、正しく読み取り、思ったことや、感じたことを楽しく表現できる子ども。

(2) 授業研究の実践

① ブロック事前授業

11月21日(土) 2校時 2の1 ◎気持ちを考えて読もう「お手紙」 3の場面

② ブロック授業

11月24日(火) 2校時 2の2 ◎気持ちを考えて読もう「お手紙」 3の場面

③ 校内事前授業

12月 2日(水) 2校時 1の1 ◎本はともだち「ずうっと、ずっと、大すきだよ」 3の場面

④ 校内授業

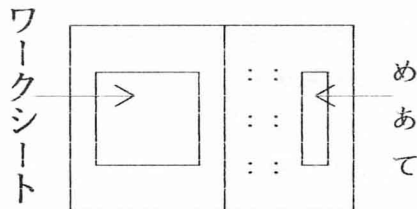
12月 4日(金) 2校時 1の2 ◎本はともだち「ずうっと、ずっと、大すきだよ」 3の場面

(3) 授業実践の実践から

① ワークシートの視写や書き込みについて

ア めあてを虫くいにし、大事な言葉を書かせる。(めあてを短冊にして準備)

イ ワークシートの活用をするが、ノート作りも大切にしていきたい。毎時、見開き1ページずつ学習の足跡を残していく。



ウ 様子を表す言葉や、したことの文をノートに視写させる。

② 役割読みについて

ア 1単位時間の中で、初めと終わりに音読を位置づけ、授業を通して、どう読みが深まったかを比較させる。

イ 主人公「ぼく」に、同化して、気持ちがよく分かるように音読させる。

③ 動作化について

実際、「ぼく」がしてあげたことを動作化させ、「ぼく」の気持ちを深く読み取らせる。

④ 思ったことや感じたことを楽しく表現できる子ども。

● 音読での表現 ● 吹き出しへの表現 ● 動作化での表現

「読む・書く・話す・聞く」の活動を盛り込んでみた。

⑤ 発問の精選について

動作化の前に、発問で、ぼくが、どんな気持ちで、どんなことをしてあげたのかを引き出しておく。

⑥ まとめについて

めあてと照らし合わせて、本時のまとめをしていく。

ア 吹き出しやワークシートによるまとめをしていく。 イ 表現豊かな音読。

ウ 賞賛により、次時への意欲を高める。